

武蔵工業大学後援会誌[マイコム]

MI-COM

no. 30 2004.8

- 後援会会長挨拶……………p1
- 平成16年度 評議員会が開催される……………p2
- 平成15年度 事業報告……………p3
- 平成15年度 決算書……………p5
- 平成16年度 事業計画……………p6
- 平成16年度 予算……………p7
- 平成16年度 役員・評議員……………p8
- 平成15年度 「課外活動に対する補助」による援助……………p9
- Campus Topics……………p11
- 平成16年度 「大学と父母との連絡会」のお知らせ……………p15

写真：平成16年度 体育祭



後援会会長挨拶



武蔵工業大学後援会会長

相模 静夫

この度、川端前会長のご退任により会長に就任いたしました。

武蔵工業大学後援会は、昭和63年12月に発足し、平成元年度から活動を始め、今年で16年目を迎えました。

その間、学生達の充実した学生生活向上を目指し、

大学と協力し課外活動等いろいろな支援をしてまいりました。

ご父母、大学関係者の方々のご理解、ご支援とご尽力により今日のような立派な後援会として継続しております。

現在の会員数は5,204名、海外からの留学生14名も含め92%の方々に加入いただいています。

最近、日本経済の景気回復が本格化し、新たな成長への飛躍が始まっています。

デジタル家電や外需拡大を追い風にした設備投資の拡大など、攻めの経営に転じる企業が増えています。

攻めの経営に最も欠かせないリソースは人材です。

人材供給元である大学及び教育界全体を見ますと、現在、直面している3つの側面、即ち、国際化、

情報化と少子高齢化の中で、特に情報化と少子化において、

デジタル/IT技術による情報化の流れは人間の生活を便利にもするが、

現実と仮想世界との境界を見失う青少年を生み出している。しかしながら情報化と無縁ではられません。

学生達には、現実世界の経験に乏しいとはいえ、バーチャルな世界を見誤らない人格形成が重要です。

本来、学生生活は、学業/研究はもちろん、課外活動/学園祭等のあらゆるシーンで仲間と一緒に汗をかき、語りあうことで一生涯の友を得て、社会常識を身に付け人格形成して行く場でもあると思います。

現在、武蔵工大には学部・大学院生合わせて12カ国約180名の留学生も仲間として勉強しています。

学生諸君には、多くの仲間と共に充実した学生生活を送ってもらい、

世界中の仲間と共に生きる心を持った国際人として、

又社会人として育てて欲しいし、そうなるものと信じています。

武蔵工業大学は、本年、創立75周年を迎え、教育/研究内容が大きく改革され、

そして、その環境/インフラも一段と充実されて来ました。その中で、後援会としましては、

環境/与件変化に対応した変革が必要となってきます。

在学生の満足度向上にむけた支援活動は何かを明確にしつつ、大学との連携を一層深め、

後援会活動の継続/発展を図って行くつもりです。

皆様方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

* * * * 平成16年度 評議員会が開催される * * *

武蔵工業大学後援会の平成16年度評議員会が平成16年5月29日(土)午後2時45分から世田谷キャンパス3号館312教室において役員、評議員127名(うち委任出席35名)の出席のもとに開催されました。

評議員会は川端会長の開会の挨拶で始まり、役員及び今年度新しく評議員に就任された31名の方々が紹介された後、議事に入りました。議事は事務局から第1号議案から各議案ごとに提案説明され、その後、この説明に基づいて審議され採決の結果、次の議案が原案の通り可決、承認されました。

武蔵工業大学後援会平成16年度評議員会

平成16年5月29日(土)
世田谷キャンパス312教室(五島記念館1F)

- 1.開会の辞 川端会長
- 2.報告事項
平成16年度後援会入会者数及び会員数について
- 3.議 事
 - 第1号議案 平成15年度 事業報告について
 - 第2号議案 平成15年度 決算報告について
 - 2-1 平成15年度 決算報告
 - 2-2 緊急奨学金特別会計決算報告
 - 第3号議案 平成16年度 事業計画(案)について
 - 第4号議案 平成16年度 予算(案)について
 - 4-1 平成16年度 予算(案)
 - 4-2 緊急奨学金特別会計予算(案)
 - 第5号議案 平成16年度 役員候補者について
- 4.そ の 他
- 5.閉会の辞 神山副会長



* 堀川学長からの挨拶



* 議事進行を務める川端会長と浅野学生部長、小山学生課長



* 審議風景(312教室にて)

1 事業

1. 正課外教育援助

課外活動援助

学生団体連合会への援助

学生団体連合会への課外活動の援助金として
15,700,000円を援助(平成15年7月3日・15日)

同好会連合及び学科研究会連合に課外活動援助金として
1,510,000円、300,000円を援助

(平成15年7月8日・平成15年10月31日)

「課外活動に対する補助制度」により第1回、第2回、第3回
合計36件、総額 5,871,734円を援助

第1回 平成15年7月14日 10団体(12件)

第2回 平成15年11月19日 9団体(12件)

第3回 平成16年1月20日 17団体(24件)

主な援助

- (1) 試合結果が優秀につき奨励補助としてラグビー部、ハンドボール部、アイスホッケー部、航空研究部、ワンデリングスキー同好会等に対し援助を行った
- (2) ワンダーフォーゲル部、アメリカンフットボール部、スカイスーツ同好会等に加入保険の一部補助を行った
- (3) 学生団体連合会横浜分室に対し、国際交流チャリティーコンサート開催の一部補助を行った
- (4) 放送会に対し、行事記録用ビデオ編集機器購入のための補助を行った
- (5) ラグビー部、ハンドボール部、アイスホッケー部に対し全国大会への出場経費の一部補助を行った
- (6) 新聞会に対し、全国大会出場団体取材のため、取材費用の援助を行った

他

学生行事に対する援助(763,850円)

(1) スプリングフェスティバルへの援助

(2) 文化団体連合会主催のミュージックフェスティバルの運営費を援助

(3) 体育会主催のナイトリーの運営費を援助



ミュージックフェスティバル

強化団体指定による援助(1,200,000円)

平成15年度の強化団体として指定したラグビー部、アメリカンフットボール部、アイスホッケー部、及びハンドボール部に対し、チーム強化のための資金を援助

その他の援助(1,903,650円)

シャトルバス運行の援助

学生顕彰

大学の学生表彰(学長賞、学生部長賞、課外活動奨励賞)のうち、課外活動奨励賞を授与し、副賞を贈呈

在学中、課外活動に貢献した学生を選考し、22名に「後援会長賞」を授与・表彰

平成15年度「後援会長賞」受賞者

氏名	所属	主な功績	進路先
酒井 博子	機械	文化団体連合会本部長	(株)デーズクラブ
木本 智彦	機械	体育会本部長	武蔵工業大学大学院(機械修)
菅崎 尊暁	機械	柔道部主将	(株)牧野フライス製作所
横関 良	機械	ワンデリングスキーサークル副会長	三菱自動車工業(株)
大淵 公重	機械	吹奏楽団団長	(株)ニフコ
萩原 正明	機械	機親会会長	日本電産コパル(株)
山根 拓也	機械	学生団体連合会執行委員長	富士電機ホールディングス(株)
山下 広輔	機械システム	スカイスーツ同好会会長	鬼怒川ゴム工業(株)
山本 類	機械システム	航空研究部部长	武蔵工業大学大学院(機械システム修)
渡辺 泰輔	機械システム	鉄道研究部部长	武蔵工業大学大学院(機械システム修)
岡崎 聡也	電気電子	学生団体連合会副執行委員長 MI-TECH横浜祭運営委員会委員長	横河電機(株)
中村 光	電気電子	体育会本部副会長 MI-TECH祭実行委員会警備本部長	森永製菓(株)
今治 理史	電子通信	グリークラブ部長	アイ・ビー・テクノス(株)
和田 智之	電子通信	同好会連合会長	武蔵工業大学大学院(電気修)
後藤 学	土木	アメリカンフットボール部主将	武蔵工業大学大学院(都市基盤修)
高山 敦好	経営	アイスホッケー部主将	ウインドコーポレーション
桜井 康雅	エネルギー基礎	新聞会会長	武蔵工業大学大学院(エネルギー修)
相坂 瑠衣	環境情報	学生団体連合会横浜分室長	(株)アーバンコーポレイション
足立 英里	環境情報	MI-TECH横浜祭運営委員会委員長	ジェイサット(株)JSAT
岩崎 智	環境情報	同好会連合横浜代表	(株)社会システム研究所
竹村 亜衣	環境情報	水泳部	セコム(株)
徳田 恒司	環境情報	ダンスサークルLAVI代表	富士通(株)

学生の生活指導に対する援助

全学生団体を対象に「救命講習会」の受講を義務付けさせ、その受講費用を援助(1団体1名を義務付け、61名が参加)

リーダーズ研修会における「テーピング講習会」実施に対し、援助

2 「大学と父母との連絡会」の共催

全国26会場で開催された「大学と父母との連絡会」の費用の一部を負担
大会会場(世田谷・横浜)においては川端会長が後援会を代表して挨拶
(平成15年9月27日)、地方会場においては、評議員の方々に会の運営等
にご協力をいただいた

3 大学行事への援助と協力

平成15年度入学式に川端会長が来賓として出席し祝辞(平成15年4月2日)

体育会主催の体育祭への援助(平成15年5月)

学生団体連合会主催によるMI-TECH横浜祭の運営資金を援助
(平成15年5月)

学生団体連合会主催によるMI-TECH祭の運営資金を援助
(平成15年11月)



平成15年度学生表彰授賞式に川端会長が出席し、課外活動奨励賞を授与(平成16年2月24日)
平成15年度学位授与式に川端会長が来賓として出席し、「後援会長賞」を授与(平成16年3月19日)



学生表彰授賞式

4 学生厚生援助

野外用ベンチ(20台)及びガーデンセット(10セット)を寄贈
課外活動用洗濯機(2台)を寄贈

5 後援会緊急奨学金

会員の家計急変により学業の継続が困難な学生に対して授業料相当額(全額又は半額)を貸与する緊急奨学金は、平成15年度は、1名に対し総額1,340,000円を貸与(平成15年6月18日)

6 .会報の発行

後援会の会誌「MI-COM28号」を刊行し、会員へ送付(平成15年8月)
後援会の会誌「MI-COM29号」を刊行し、会員へ送付(平成16年1月)

7 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)に対する援助

平成15年4月7・8日(環境情報学部)、平成15年4月15・16日(工学部)に実施された新入生を対象とした研修行事に対して援助

8 就職活動に対して援助

進路・就職適性検査「自己発見レポート」(1年)、「自己プログレスレポート」(2年)及び「日経学生経済常識テスト」(3年)を実施

9 .後援会案内等の送付

平成16年度各入学試験合格者の合格通知に後援会パンフレットを同封して発送

- ・一般入試(前期) 平成16年2月10日(環)
平成16年2月12日(工)
- ・センター試験利用入試 平成16年2月10日(環)
平成16年2月12日(工)
- ・一般入試(後期) 平成16年3月4日(工・環)

10 .その他

大学へ「課外活動奨励賞」の候補者の推薦依頼
大学へ「後援会長賞」の候補者の推薦依頼

2

運営

1 .理事会(2回)

平成15年5月17日(土)

- 第1号議案 平成14年度 事業報告について
- 第2号議案 平成14年度 決算報告について
- 第3号議案 平成15年度 事業計画(案)について
- 第4号議案 平成15年度 予算(案)について
 - 4-1 後援会緊急奨学金会計処理
 - 4-2 平成15年度予算(案)
- 第5号議案 平成15年度 役員候補者について

平成15年11月22日(土)

- 第1号議案 平成15年度 後援会事業経過について
- 第2号議案 後援会の次年度に向けての運営について
 - 2-1 平成16年度 後援会主要会議等予定(案)
 - 2-2 平成16年度 後援会役員、評議員構成(案)
- 報告事項 1.平成15年度 後援会会員数について
2.平成15年度 「大学と父母との連絡会」の結果について

2 .評議員会(1回)

平成15年5月25日(土)

- 第1号議案 平成14年度 事業報告について
- 第2号議案 平成14年度 決算報告について
- 第3号議案 平成15年度 事業計画(案)について
- 第4号議案 平成15年度 予算(案)について
 - 4-1 後援会緊急奨学金会計処理
 - 4-2 平成15年度予算(案)
- 第5号議案 平成15年度 役員候補者について

なお、当日は評議員会に先立って、新たにお願ひする評議員の方々への学内見学を行い、また評議員会終了後には、大学教職員との懇談会を開催した

3 .会計監査

平成15年4月19日(土)

高橋、久保木両会計監査により、平成14年度の会計監査を実施

4 .その他

後援会事務担当者の採用

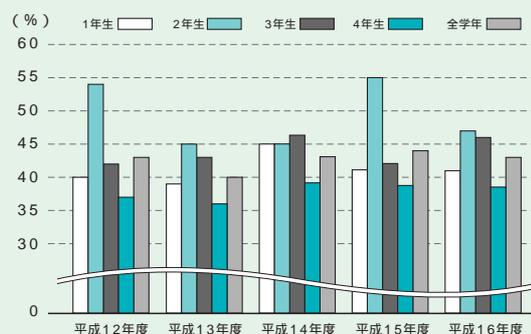
(専任・アルバイト 平成15年4月～平成16年3月)

平成16年度後援会会員数 (平成16年5月29日現在)

学部		工学部								環境情報学部		合計	
学科	学年	機械	機械システム (旧電気電子)	電気電子情報 電子通信 (旧電子情報)	コンピュータ システム (旧電子情報)	建築	都市基盤 (旧土木)	システム情報 (旧経営)	環境エネルギー (旧エネルギー-環境)	環境情報	情報メディア		
	1年生	115	112	106	102	106	124	111	106	82	200	233	1397
	2年生	120	106	118	109	85	128	106	118	58	192	243	1383
	3年生	119	96	120	102	69	124	105	111	55	192	246	1339
	4年生	120	96	118	126	88	99	133	114	46	145	0	1085
	合計	474	410	462	439	348	475	455	449	241	729	722	5204

大学院		工学研究科						環境情報学 研究科		合計
専攻 学年		機械	機械システム	電気	建築	都市基盤	経営	エネルギー-量子	環境情報	
	修博 合計	53	37	132	51	46	32	32	24	407

過去5年間の在学学生クラブ加入率



平成15年度 決算書

平成15年4月1日～平成16年3月31日

科目	平成15年度 予算	平成15年度 決算	差異	備考
(収入の部)	(円)	(円)	(円)	
1. 会費	71,780,000	71,780,000	0	新入生の加入者
2. 雑収入	10,000	10,444	444	利息収入
3. 前年度繰越金	13,224,296	13,224,296	0	
収入の合計	85,014,296	85,014,740	444	
(支出の部)				
事業費	60,600,000	53,220,578	7,379,422	
4. 正課外教育援助費	31,800,000	28,094,065	3,705,935	援助の内容については下表を参照
5. 父母連絡会費	3,800,000	3,901,213	101,213	全国各地で年1回大学と共催
6. 大学行事協力費	4,000,000	3,620,000	380,000	体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭等
7. 学生厚生援助費	4,000,000	2,517,600	1,482,400	厚生設備等への援助
8. 会報発行費	3,600,000	3,916,500	316,500	後援会広報誌の作成(2回)
9. 新入生研修行事費	5,900,000	5,808,000	92,000	全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
10. 就職活動援助費	7,500,000	5,363,200	2,136,800	就職関連テスト等
運営費	8,950,000	7,801,852	1,148,148	
11. 事務費	4,800,000	4,642,664	157,336	人件費、事務委託費、消耗品費
12. 会議費	1,100,000	712,436	387,564	理事会、評議員会
13. 印刷・通信費	1,400,000	954,932	445,068	通知、案内の郵送、印刷代
14. 旅費・交通費	1,500,000	1,464,520	35,480	地方評議員、役員の旅費
15. 備品費	100,000	0	100,000	後援会関係の備品、什器
16. 雑費	50,000	27,300	22,700	振込手数料等
予備費	1,000,000	672,790	327,210	慶弔費等
特別会計	14,000,000	14,000,000	0	
17. 後援会基本積立	0	0	0	
18. 記念事業費積立	4,000,000	4,000,000	0	大学創立記念事業協力
19. 学生事故対策援助費積立	0	0	0	学生事故対策として1,000万円まで積立完了
20. 特別課外活動援助費積立	0	0	0	大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
21. 緊急奨学基金	10,000,000	10,000,000	0	緊急奨学基金設置
小計	84,550,000	75,695,220	8,854,780	
次年度繰越金	464,296	9,319,520	8,855,224	
支出の合計	85,014,296	85,014,740	444	

予算に対し決算が超過した場合に 印を付した。

正課外教育援助費内訳

科目	平成15年度 予算	平成15年度 決算	差異	援助対象
正課外教育援助費	31,800,000円	28,094,065円	3,705,935円	
課外活動援助費	30,200,000	27,249,234	2,950,766	(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用 (オ)は強化指定団体制度により運用
内訳				
(ア)学団連援助	15,700,000	15,700,000	0	学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同好会・学科研究会援助	2,000,000	1,810,000	190,000	学団連準加盟の同好会及び学科研究会の連合各団体
(ウ)一般援助	8,400,000	5,871,734	2,528,266	課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備特別企画、地域活動
(エ)学生行事援助	800,000	763,850	36,150	スプリングフェスティバル、ミュージックフェスティバル等
(オ)団体強化援助	1,200,000	1,200,000	0	強化指定団体
(カ)その他の援助	2,100,000	1,903,650	196,350	シャトルバス援助
学生顕彰費	900,000	626,390	273,610	課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導費	700,000	218,441	481,559	リーダー教育、救命講習会受講料援助、学生の国際交流指導等

緊急奨学金決算書

経常収入の部	当期予算	当期実績
緊急奨学金基金受入 (後援会奨学金受入)	10,000,000円	10,000,000円
緊急奨学金返済収入	2,507,000	689,500
利息収入	585	57
経常収入計	12,507,585	10,689,557
経常支出の部		
緊急奨学金貸付支出	2,680,000	1,340,000
貸倒損失		
経常支出計	2,680,000	1,340,000
経常収支	9,827,585	9,349,557

平成16年度 事業計画

1 事業

1. 正課外教育援助

学生の課外活動のより一層の活性化をはかるため、学生団体及び学生行事等に対して援助を行う

課外活動援助

「課外活動に対する補助制度」による援助を行う
学生団体連合会へ課外活動の援助金を支給
学生団体連合会へ準加盟の同好会及び学科研究会の連合団体へ組織運営のための援助金を支給
*以下の2項目の援助については、援助希望団体(個人)の申請に基づき、大学学生部の意見を受けて決定
「課外活動に対する補助制度」による一般援助を行う
課外研究、対外活動、環境向上活動、情報収集活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等
学生行事への援助を行う
スプリングフェスティバル、ミュージックフェスティバル、ナイトラリー、公開企画、特別行事等に対する援助
強化団体指定による援助を行う
関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための援助を行う(関東リーグ3部以上相当:関東ランキング24位前後以上を目安)
その他の援助を行う
シャトルバス運行の援助

学生顕彰

課外活動奨励賞の授与
学生表彰授賞式において、課外活動奨励賞として、賞状及び副賞を授与
後援会長賞の授与
学位授与式(卒業式)において、課外活動に貢献した学生約20名を表彰し、賞状及び副賞を授与

学生生活指導

学生の生活指導に対する援助を行う

お知らせ

武蔵工業大学後援会
ホームページ随時更新!

本会のホームページはもうご覧になりましたか?本会の事業内容・活動状況をはじめ、MI-COM(マイコム)のバックナンバー等、武蔵工業大学後援会に関する様々な情報を掲載しております。内容の更新も随時行っておりますので、是非ご利用ください。

ホームページアドレス

<http://www.comm.musashi-tech.ac.jp/~kouenkai>



学生団体の責任者を対象とした「リーダーズ研修会」の費用の一部援助
安全教育として学生団体を中心に「救命講習会」の受講を義務付け、その費用を援助
学生(留学生含む)の国際交流活動に対し援助
その他学生生活指導上必要とみとめられる事柄

2 「大学と父母との連絡会」の開催

全国各地において「大学と父母との連絡会」を共催する
今年度は、本学会場(世田谷キャンパス・横浜キャンパス)を含め27会場で開催する
本学会場は、平成16年9月25日(土)を予定

3 「役員・評議員と大学教職員との懇談会」の開催

平成15年5月29日(土)の評議員会終了後の懇談会を大学教職員と後援会役員等と歓談する

4 大学行事への協力

大学及び学生が主催する大学行事、企画への援助協力を行う(体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭)

5 学生厚生援助

学生の厚生施設・設備の充実のための援助を行う(学生利用施設)

6 緊急奨学金の貸与

会員の家計の急変により学業の継続が困難な学生に対し、授業料相当額(全額又は半額)を貸与する

7 会報の発行

後援会の会誌「MI-COM」を年2回発行し、学内の動きを父母に連絡するとともに、誌面を通して会員相互の親睦をはかる

8 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)への援助

毎年4月に実施する新入生対象のフレッシュマン・キャンプへの援助を行う

9 就職活動に対して援助

進路・就職適性検査「自己発見レポート」(1年)、「自己プログレスレポート」(2年)及び「日経学生経済常識テスト」(3年)を実施する

2 運営

1 会議

理事会 2回 平成16年5月15日(土)、11月21日(日)予定
評議員会 1回 平成16年5月29日(土)

2 その他

後援会事務担当者の採用(専任・アルバイト 平成16年4月1日~平成17年3月31日)



平成16年度 予算

科目	平成16年度予算	備考
(収入の部)		
	(円)	
1. 会費	70,300,000	新入生の加入者
2. 雑収入	11,000	利息収入
3. 前年度繰越金	9,319,520	
収入の合計	79,630,520	
(支出の部)		
事業費	62,712,000	
4. 正課外教育援助費	30,420,000	援助の内容については下表を参照
5. 父母連絡会費	4,200,000	全国各地で年1回大学と共催
6. 大学行事協力費	4,700,000	体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭等
7. 学生厚生援助費	2,000,000	厚生設備等への援助
8. 会報発行費	4,000,000	後援会広報誌の作成(2回)
9. 新入生研修行事費	11,392,000	全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
10. 就職活動援助費	6,000,000	就職関連テスト等
運営費	8,850,000	
11. 事務費	4,800,000	人件費、事務委託費、消耗品費
12. 会議費	1,000,000	理事会、評議員会
13. 印刷・通信費	1,300,000	通知、案内の郵送、印刷代
14. 旅費・交通費	1,600,000	地方評議員、役員の旅費
15. 備品費	100,000	後援会関係の備品、什器
16. 雑費	50,000	振込手数料等
予備費	4,000,000	慶弔費、75周年記念出版等
特別会計	4,000,000	
17. 後援会基本積立	0	
18. 記念事業費積立	4,000,000	大学創立記念事業協力
19. 学生事故対策援助費積立	0	学生事故対策として1,000万円まで積立完了
20. 特別課外活動援助費積立	0	大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
21. 緊急奨学金基金	0	緊急奨学金基金設置
小計	79,562,000	
次年度繰越金	68,520	
支出の合計	79,630,520	

正課外教育援助費内訳

科目	平成16年度予算	援助対象
正課外教育援助費	30,420,000円	
課外活動援助費	29,220,000	(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用 (オ)は強化指定団体制度により運用
内訳		
(ア)学団連援助	17,220,000	学団連、体育会・文化団体連合会、同好会連合会所属各団体、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同好会・学科研究会援助	400,000	学団連準加盟の学科研究会各団体
(ウ)一般援助	7,500,000	課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備特別企画、地域活動
(エ)学生行事援助	900,000	スプリングフェスティバル、ミュージックフェスティバル、ナイトラリー等
(オ)団体強化援助	1,200,000	強化指定団体
(カ)その他の援助	2,000,000	シャトルバス援助
学生顕彰費	800,000	課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導費	400,000	リーダー教育、救命講習会受講料援助、学生の国際交流指導等

緊急奨学金予算書

経常収入の部	当期予算
緊急奨学金基金受入	9,349,557円
(後援会奨学金資金受入)	
緊急奨学金返済収入	3,629,000
利息収入	50
経常収入計	12,978,607
経常支出の部	
緊急奨学金貸付支出	2,680,000
貸倒損失	
経常支出計	2,680,000
経常収支	10,298,607

平成16年度 役員・評議員

役員 (敬称略)

会長	相模 静夫	経営	(新)
副会長	神山 次郎	電気工学	(再)
副会長	千田 哲也	機械システム	(新)
理事	佐丸 雄治	都市基盤工学	(再)
理事	鎗居 秀禎	機械	(再)
理事	上月 直登	機械	(再)
理事	首藤 光宏	機械	(再)
理事	松居 正	電気電子	(再)
理事	石田 敏道	エネルギー基礎	(再)
理事	青柳 廣	環境情報	(再)
理事	飯田 真也	環境情報	(再)
理事	野口 雅人	機械	(再)
理事	稲岡 一義	機械システム	(再)
理事	桑名 好治	機械システム	(再)
理事	松井 敏明	電気電子	(再)
理事	榎本 英雄	電子通信	(再)
理事	村井 和夫	エネルギー基礎	(再)

理事	井澤 邦輔	環境情報	(再)
理事	石戸谷 重徳	機械	(新)
理事	近藤 亮平	機械システム	(新)
理事	森谷 正彦	電気電子情報	(新)
理事	角田 孝	コンピュータ・メディア	(新)
理事	河村 光治	建築	(新)
理事	廣川 輝誉嗣	建築	(新)
理事	長崎 俊夫	システム情報	(新)
理事	櫛山 和彦	情報メディア	(新)
会計監査	辻 定彦	電気工学	(新)
会計監査	岡野 雄治	システム情報	(新)

顧問 学長 堀川 清司
顧問 教授 海老原 大樹

評議員 (敬称略)

森岡 隆行	東京都	電気工学	(再)
太田 秀夫	東京都	機械工学	(再)
齋藤 文彦	神奈川県	機械システム工学	(再)
石原 昌司	沖縄県	電気工学	(再)
石黒 勝利	北海道	都市基盤工学	(再)
川村 潤	東京都	機械工学	(再)
高島 和憲	東京都	機械工学	(再)
阿部 栄一	神奈川県	機械システム工学	(再)
磯部 義久	静岡県	エネルギー工学	(再)
石川 健哉	茨城県	機械システム	(再)
神田 積	広島県	電気電子	(再)
税所 廣志	宮崎県	電気電子	(再)
安田 一行	福岡県	電子通信	(再)
熊添 政治	神奈川県	電子情報	(再)
明地 恭敬	愛媛県	建築	(再)
大深 修	岡山県	建築	(再)
青木 茂	栃木県	土木	(再)
笠原 徹	神奈川県	土木	(再)
奥 行夫	鹿児島県	経営	(再)
茅野 元昭	愛知県	経営	(再)
久保田 俊治	山梨県	エネルギー基礎	(再)
栗城 源一	福島県	環境情報	(再)
江森 則雄	東京都	機械	(再)
榎本 稔	京都府	機械システム	(再)
木村 喜一	埼玉県	電気電子	(再)
長尾 幸次郎	岡山県	電気電子	(再)
沼田 実	青森県	電子通信	(再)
桑田 哲夫	東京都	電子情報	(再)
後藤 達也	宮城県	電子情報	(再)
中野 英一	大分県	電子情報	(再)
川本 裕資	群馬県	建築	(再)

香西 信一郎	千葉県	建築	(再)
中村 秀文	神奈川県	建築	(再)
前田 稔	神奈川県	都市基盤	(再)
増田 和茂	東京都	都市基盤	(再)
皆川 勇治	新潟県	エネルギー基礎	(再)
天野 彊二郎	埼玉県	環境情報	(再)
渡部 正博	北海道	環境情報	(再)
稲垣 公一	静岡県	情報メディア	(再)
高田 育紀	栃木県	情報メディア	(再)
森 民生	東京都	情報メディア	(再)
水野 博次	神奈川県	機械	(再)
磯貝 興作	広島県	機械	(再)
神谷 哲夫	愛知県	機械	(再)
寺島 宏	長野県	機械システム	(再)
福永 徹	鹿児島県	電気電子情報	(再)
玉浦 裕	東京都	電子通信	(再)
石丸 栄一	福岡県	コンピュータメディア	(再)
猪熊 康夫	静岡県	コンピュータメディア	(再)
田内 純吉	高知県	建築	(再)
中村 誠一	宮崎県	建築	(再)
菅原 次郎	神奈川県	都市基盤	(再)
関根 孝夫	埼玉県	都市基盤	(再)
横松 宏明	栃木県	都市基盤	(再)
望月 俊治	山梨県	システム情報	(再)
赤羽 功司	東京都	環境エネルギー	(再)
永田 豊	千葉県	環境エネルギー	(再)
右近 義隆	東京都	環境情報	(再)
広瀬 春彦	神奈川県	環境情報	(再)
杉野 栄太郎	神奈川県	情報メディア	(再)
関本 準一	新潟県	情報メディア	(再)
岡野 利喜造	群馬県	機械	(新)

木下 真一	神奈川県	機械	(新)
宮崎 尚	東京都	機械	(新)
森嶋 信夫	石川県	機械	(新)
小林 紀夫	東京都	機械システム	(新)
内藤 節雄	徳島県	機械システム	(新)
菱沼 行男	茨城県	機械システム	(新)
羽室 俊昭	神奈川県	電気電子情報	(新)
古屋 優	東京都	電気電子情報	(新)
山田 昌義	静岡県	電気電子情報	(新)
伊藤 俊郎	宮城県	電子通信	(新)
落合 勇	東京都	電子通信	(新)
中村 研八	東京都	電子通信	(新)
阿部 正	秋田県	コンピュータメディア	(新)
大塚 弘一	長野県	コンピュータメディア	(新)
久多良木 健	神奈川県	コンピュータメディア	(新)
山藤 幹夫	埼玉県	コンピュータメディア	(新)
遠藤 國雄	福島県	建築	(新)
谷内 正健	神奈川県	建築	(新)
石澤 秀夫	栃木県	都市基盤	(新)
三井 勝巳	富山県	都市基盤	(新)
安藤 隆雄	大分県	システム情報	(新)
桜井 富美夫	東京都	システム情報	(新)
井上 淳	東京都	環境エネルギー	(新)
杉本 貴英	神奈川県	環境エネルギー	(新)
阿部 賢一	千葉県	環境情報	(新)
堀内 郁男	長野県	環境情報	(新)
堀口 友四郎	神奈川県	環境情報	(新)
土屋 誠太郎	静岡県	情報メディア	(新)
野村 侃彦	東京都	情報メディア	(新)
山村 雅之	東京都	情報メディア	(新)

(新)は新任、(再)は再任



平成15年度「課外活動に対する補助」による援助

後援会の事業の一つに「課外活動に対する補助制度」があります。

これは学生が自主的な財源確保の努力をしつつも補助を受けることにより、特色ある活動や、より高レベルの活動が可能となり、キャンパスライフの充実に貢献することを期待して設けられているものです。

統括団体への援助

団体名	代表者名	申請件名	決定額
学生団体連合会	清水伸一郎	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	15,700,000
同好会連合	藤本 高広	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	1,510,000
学科研究会連合	中山 元 高橋 良弘 平本 真理	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	300,000

一般補助 第1回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
学生団体連合会	清水伸一郎	ビデオカメラの購入	各課外活動団体に現在所有のビデオカメラの貸し出しを行っている。機材導入から約6年が経過し、パソコン連携機能が皆無など機能的に劣る。ホームページ等での情報発信を進めるために新規購入希望。	144,795
新聞会	森田 良平	ハンドボール部の東日本学生選手権大会出場に対する取材の補助	本校ハンドボール部が8年ぶりの2部昇格を果たし「第25回東日本学生選手権大会」に出場。同輩の活躍を記録に収め全校に広報することは要務であるが、遠方福井での大会のため費用捻出が困難。取材費の補助希望。	111,040
Y F A .	伊藤 寛譜	レーザープリンタ購入に関する補助	MI-TECH横浜祭の運営にあたり企画書、関連資料、報告書等、多数の資料の作成、印刷を行うが、現在プリンターの故障により非常に支障をきたしている。円滑に運営を進めていく上でレーザープリンタが必要である。購入補助希望。	28,140
鉄道研究部	岸本 洋幸	横浜祭参加のための一部経費の援助	部のイベントとしてMI-TECH横浜祭に参加。模型の体験運転等を実施、多くの方に喜ばれ好評を博した。毎年来場される方も多い。しかし、横浜祭参加は輸送費をはじめ多額の費用を要す。活動を継続していくために一部経費の援助希望。	53,022
ラグビー部	富田 省吾	理工系リーグ大会優勝	左記大会にて全勝優勝。	100,000
ハンドボール部	菊地 辰矢	東日本学生ハンドボール選手権大会出場 関東学生ハンドボールリーグ3部優勝・2部昇格	春季リーグ戦において3部優勝を果たし、東日本インカレの出場権を獲得。 左記リーグ戦において3部全勝優勝し、2部との入替戦において完勝、2部昇格を果たした。	351,000 100,000
アメリカンフットボール部	後藤 学	スポーツ保険大幅値上げ及び怪我防止対策費の補助	加入が義務付けられているスポーツ安全保険の年間掛け金が、一昨年度より1名1,400円から9,000円となり大きな負担となっている。また、非常に激しい運動であるため、怪我防止のテーピング代も大きな負担である。部費ではリーグ戦参加に係わる費用の一部充当にしかならず、補助希望。	117,000
潜水科学研究会	土屋 貴由	スキューバダイビング活動のための保険代	スキューバダイビングは危険を伴うため、スポーツ安全協会傷害保険に加入しなければならない。その他器材のメンテナンス代、部車の保険代、車検代等経費のかかるスポーツであり、学業に影響のでない程度程度のアルバイト収入では苦しい現状である。傷害保険代だけでも援助いただきたい申請。	32,250
スカイスーツ同好会	遠藤 一樹	大会出場時における諸費用の補助	「第1回南アルプス市パラグライダーカップF1」(社会人参加の全国レベル大会)にて山下広輔(機械システム4年)がF1クラスで22位/68人中、F2クラスで3位/11人中という好成績を収めた。山梨県で行われ、交通費・宿泊費等個人負担が大きく補助希望。	10,000
		スポーツ安全保険における補助	保険の加入は必要最小限なものと考えられる。その保険料の支払いは学生にとって負担であるため、補助申請。	22,500
世田谷留学生会	劉 暁	情報処理機器及び周辺機器の新設に対する補助	留学生同士との更なる交流、情報交換(SC、YCの留学生同士との交流も含め)さらに学外向けの情報発信や留学生間の学習援助などを図り、留学生会のウェブサイトを作るに至った。その際、各種情報処理機器が必要となるが、現在留学生会の会費で購入することが困難であるため、補助希望。	129,117
合計	10団体		12件	1,198,864

一般補助 第2回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
学生団体連合会	清水伸一郎	印刷機リース代(4回目)	印刷機の継続利用。	210,420
		印刷機用カードカウンターの購入	現在使用中のカードカウンターが故障、修理不能の状態。このカードカウンターは各団体の印刷機の使用状況を把握するのに大変重要であり、印刷機の運営上欠かせないものである。印刷機の不正使用を回避するためにも購入の補助希望。	95,655
学生団体連合会 横浜分室	安藤 博隆	第6回「武蔵工大YC国際交流チャリティーコンサート」における補助	12月3日に第6回「武蔵工大YC国際交流チャリティーコンサート」を開催予定。今年度はチャリティーを「知るから」「知るから」をコンセプトとしている。ご来場の方々にチャリティーに参加して頂くために、より一層の内容の充実化をはかりたい。開催に要する諸費用の補助申請。	350,000
体育会本部	飯島 悠也	新規パソコン購入	体育会所有のパソコン2台のうち1台が故障、修理不可能となった。現存の1台はインターネットに繋げないもので支障をきたしている。数々の活動をこなすためには新規パソコン購入は不可欠と思われる。補助希望。	144,354
硬式野球部	廣瀬 徹	東都大学野球連盟への連盟費補助	東都大学野球連盟に所属。OBからの寄付金と大学からの援助金でバットやボール等の道具、連盟費にあてていたが、近年OBからの寄付金が減少し連盟費が支払えない恐れがある。補助希望。	100,000
水泳部	河越 諒	全日本学生選手権出場	9月5・6・7日に行われた全日本学生選手権に竹村亜衣(環境4年)が4年連続出場。この大会は国内の学生トップスイマーが集う大会であり、本学水泳部史上2人目の快挙である。	3,000
		交通費の補助	校舎改築によるプール取り壊して、付属高校、大倉山高校での練習となった。練習場所までの交通費が必要となり、部員での負担が困難なため補助希望。	60,000
ソフトテニス部	村上 徹	大会優勝及び昇格の補助	5月10・11日の「関東東学生ソフトテニスリーグ戦」において12部中11部リーグ優勝、入替戦にて10部昇格を果たした。	100,000
		大会優勝	6月7・8日の「関東理工系学生ソフトテニスリーグ戦」において3部中3部リーグ優勝(9年ぶり)。	



アイスホッケー部	高山 敦好	年間リンク使用料の補助	ここ数年部員数の減少に伴い、高額な練習場使用料の負担が増加。例年に比べスケートリンクでの練習を減らしているが年間一人あたり280,000円を負担。補助希望。	450,000
ヨット部	飯塚 峻朗	ヨットの修理及び備品購入に対する補助	毎年9月初めに学内及び一般の方を対象にヨット試乗会を行っている。船体の老朽化が進み、毎週のように整備を行っている。整備の万全な状態で活動を行う必要がある。必要な備品に対する援助を希望。	186,092
スカイスポーツ同好会	遠藤 一樹	大会出場における諸費用の補助	9月16日～19日に鳥取で行われた「鳥取砂丘合宿」に藤 徹也(機械システム4年)は100人中5位という好成績を収めた。遠隔地のため交通費、宿泊費がかかり、またエントリー費等個人負担が大きく、補助希望。	10,000
合計	9団体		12件	1,709,521

一般補助 第3回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
学生団体連合会 横浜分室	安藤 博隆	印刷機導入費用の補助 (第4回目リース代)	印刷機の導入は、横浜キャンパスにおける学生団体の勧誘、広報活動に、またそれに伴う課外活動の活性化に大いに役立てることができる。印刷機の需要が十分にあると考えられるため、導入費用の補助申請。	194,040
文化団体連合会	棚木 良規	文連フェスティバルの補助	文化団体連合会所属団体の日頃の活動のアピール、また各団体の活性化を促すため、10月4・5日に第1回文連フェスティバルを開催。初めての企画であり、見知り金額と大幅な開きが出てしまい文連本部の予算で補填不可能となった。次年度の運営にも支障をきたすため補助申請。	118,906
放送会	北 健太	行事記録用ビデオ編集機器の購入のための補助	1998年以降記録用として放送会で撮影し続けた学生行事及び大学行事のビデオテープを放送会内の機器では編集できないため、新規に編集機器を購入したく補助申請。	437,482
同好会連合	藤本 高広	パソコンとプリンタの購入費用の補助	来年度、同好会連合が学生団体連合会に加盟すると同時にPCでの作業が増加すると考えられる。現在使用のPCでは処理速度が遅く力不足である。また現プリンタも古く作業に支障をきたすため購入希望。	173,880
MFA	桑田 直樹	FAX及び電話購入のための補助	現在使用中のFAX付電話は相手の声が聞き取りづらく活動に支障をきたしている。またFAXは用紙トレイの故障により送受信ともできない状態である。FAXと電話が共用のものだと非常に故障し易く、別々に購入することにした。補助申請。	48,321 13,440
新聞会	斉藤 修平	ラグビー部の全国大会及びアイスホッケー部の選手権大会の取材のための補助	2004年1月2・4・6・8日に行われる「第54回全国地区対抗大会」に本学ラグビー部の出場が、また2004年1月6～9日まで「第76回日本学生氷上選手権大会」にアイスホッケー部の出場が決定している。これらの部の活躍を記録し収め全校に広報することは要務であるが、試合会場が名古屋・日光と遠方のため、その費用を捻出することは困難である。取材費の補助希望。	53,440
鉄道研究部	富永 冴樹	機関誌「スチールカー学祭号」発行について	機関誌「スチールカー学祭号」を学祭にて無料配布。この発行は当部の一年間の研究成果の集大成である。今年度の年間テーマ「東京の地下鉄」は来場者や当部のOBからも高い評価を得た。コンピュータを用いた編集により写真等も充実し、取材・調査等に力が入られれば紙面は去年より倍増した。しかし印刷代は相当高額となり、部費で賄うのは困難である。補助希望。	50,000
航空研究部	加藤 修三	モデルロケット大会団体戦準優勝 モデルロケット大会個人戦優勝	3月30日に行われた第2回モデルロケット大会の団体部門で準優勝を果たした。この大会には6大学28名の競技者が参加し、このような大会での準優勝は快挙といえる。今後とも他の競技に参加し入賞を目指したい。 我が部では人力飛行機製作の他にモデルロケットの研究開発も行っている。3月30日に行われた第2回モデルロケット大会別選手権大会に参加し、定点競技の個人部門において部長の加藤修三が見事優勝。我々のモデルロケット研究に大きな励みとなった。	30,000
水泳部	河越 諒	冬期練習場レンタル料	本学には屋内プールがないため、10月以降は辰巳国際水泳場を週1～2回練習場として使用。1回あたりの使用料が5,000円のため、部費、部員からの臨時徴収では全て払うことができず、補助申請。	50,000
ラグビー部	富田 省吾	全国地区対抗予選全勝優勝 全国地区対抗ラグビーフットボール大会出場	9月から行われた全国地区対抗予選において全勝優勝を果たした。 地区予選において全勝優勝し、2004年1月2日からの全国地区対抗ラグビーフットボール大会に出場決定。宿泊費、交通費、備品等の補助希望。	100,000 621,000
硬式庭球部	榎本 大輔	硬式庭球部女子部リーグ戦大会第9部昇格 平成15年度関東理科大学硬式庭球連盟第43回個人トーナメント大会ダブルス優勝	平成15年度関東理科大学硬式庭球連盟 団体リーグ戦大会女子第10部優勝。また9部との入替戦に勝利し、去年に引き続き2年連続昇格を果たした。 大会にて、古田哲郎・渡辺大輔ペアが本戦第4シードとして出場し予選を含め全312ペア中、優勝を果たした。	100,000 30,000
アイスホッケー部	高山 敦好	インカレ予選通過について インカレ出場の補助	9月25日インカレ予選が行われ、2部校の拓殖大学に4対3で勝利し本戦への出場権を獲得した。 インカレ本戦への出場に伴い、交通費・宿泊費・練習費の補助希望。	100,000 462,840
ヨット部	飯塚 峻朗	修理及び備品購入に対する補助	我が部はレースに積極的に参加しているが、レースで重要な役割を占めるセイルの破損が目立ち、頻りに修理に出しているのが現状である。スピンセイルの購入を考えているが部員数が少なく、連盟加盟費・修理費・整備費・セイル購入費等、部費では大変厳しい状態である。補助希望。	60,000
アメリカンフットボール部	後藤 学	秋季リーグ戦参加費等の補助	秋季リーグ戦加入代、登録費、300枚割り当てのリーグ戦チケット代、試合道具運搬費等々、多額の費用を要する為、補助希望。	100,000
フットサル部	松田 健司	第10回STRIKER COLLEGE FUTSAL TOURNAMENT	全30チームで行われた左記大会(通称カレッジリーグ)で目標の優勝を果たした。昨年はベスト4であった。	100,000
ワンデリングスキー同好会	吉田 優己	長野県事杯争奪学生スキー大会出場	毎年3月に行われている左記大会において団体準優勝を収めることができた。個人戦では、横間良が上位入賞し、新人戦ではSL競技において田中智久が優勝、山田竜矢が3位と、素晴らしい成績を収めた。	70,000
スカイスポーツ同好会	遠藤 一樹	大会出場における諸費用の補助 大会出場における諸費用の補助 大会出場における諸費用の補助 大会出場における諸費用の補助	8月20～22日に行われた学生選手権「尾神岳パラグライダー学生チューデントカップ」において、山下広輔(機械システム4年)が6位の好成績を収めた。この大会は学生日本一を決める大会であり、ごく限られたレベルの高い12人の参加者で競われた。 9月9～12日で行われた学生日本一を決める全国大会「第8回全日本学生PG選手権」において、山下広輔(機械システム4年)が24人中、準優勝という好成績を収めた。 9月18～23日で行われた「パラグライディング日本選手権in白馬」に山下広輔(機械システム4年)が出場を果たした。この大会はプロ選手も多数出場しており、学生選手権の上位3名だけが出場できる非常にレベルの高い大会である。 10月18～19日に行われた学生選手権「プレ第9回全日本学生選手権in白鷹」において、山下広輔(機械システム4年)が準優勝という好成績を収めた。これにより「尾神岳パラグライダー学生チューデントカップ」「第8回全日本学生選手権」「プレ第9回全日本学生選手権in白鷹」と続いた学生リーグ大会の総合成績が1位となり、武蔵工業大学代表として大いに活躍した。	50,000
合計	17団体		24件	2,963,349

☆ バルセロナオリンピックの男子陸上400m“ファイナリスト” 高野進氏特別講演会開催 2004スプリングフェスティバル

平成16年4月2日(金) 「自己実現～スポーツからのアプローチ～」

400mでオリンピックに三度出場し、92年バルセロナでは決勝進出の快挙も成し遂げた高野進氏。現在は東海大学で後進の指導にあたり、教え子の末続慎吾は、氏が考案した“なんば走り”を武器に、破竹の快進撃を続けていることはご承知の通りでしょう。講演会では含蓄に富んださまざまなお話を聞かせていただきましたが、ここではとりわけ印象的だった部分をダイジェストでご紹介いたします。



私のモットーは“ノンレジスタンス”。抵抗しないという意味ですね。もう少し言葉を付け加えるとすれば、ポジティブ・ノンレジスタンス、つまり積極的な無抵抗となりますか、これを身上としています。私たちの人生には流れがあります。追い風と言い換えてもいいでしょう。皆さんも武蔵工業大学への入学に至るまで、ご両親、仲間、先生がたの後押しやら叱咤やら激励やらという追い風を受けてきています。その流れをせき止めたり、真っ向から抵抗するとかじゃなく、ポジティブにその流れの先頭に立つと、いま自分がやるべきこと、進むべき道が明確に見えてくるんじゃないかというのが、私のモットーなんです。

私がやっていた陸上400mという競技は、スタートからゴールまでで完全にエネルギーを使い果たします。疲労物質が出てきて、本当に立てなくなってしまうんですね。そんな種目をなぜやったのかと言えば、これもノンレジスタンスだった。初めから自分でやりたいと思ってやったんです。だんだんそこに導かれていったんです。はじめは棒高跳びの選手だったんですが、ケガをしてリハビリに励んでいたら走力が伸びてきた。そして高校の先生からリレーで全国制覇をするために必要だとわれ、イヤイヤ始めたんです。そうしたら、見事、自分に適性があったんです。そう、流れに乗ったんですね。打ち込めば打ちこむほど、記録が伸びていきました。

苦勞とか努力と言うより、自分で目標を持ち続けて、勢いで突っ走ってきたという意識が強いですね。むしろ人一倍練習はしました。とくに大学時代は、放課後のトレーニング以外に、自主トレを盛んにや

りました。夜も明けない早朝からゴルフ場に忍び込み、きれいなグリーン上を2時間ほど走ったり。日中はノートにトラックの絵を描いて、ペース配分とか、理想のフォームの研究にいそんだり。夜は夜で、自室に持ち込んだチューブやダンベルなどを使って補強トレーニングを行っていました。寝てる間も夢の中でトレーニングしていました。決してやらされたというのではなく、目標に到達したいという欲が、私を練習に向かわせたんです。人間の欲求の中でもっともレベルの高いと言われる、自己実現欲求が芽生えていたんですね。

結果、私は400mで3度オリンピックに出場し、日本人で初めてのファイナリスト(決勝進出者)となることもできました。決勝を走ったときは、予選から数えて4本目のレースだったので本当にクタクタで、ほとんど燃え尽きていました。オリンピックじゃなかったとしたら、ベッドから起きあがることもできないくらいの状態。でも、何億人の人が観てる。日本でも応援されている。自分もこの決勝に出場することを目標にやってきた。だから走れたんです。

もちろんオリンピックも、そこに至るまでプレッシャーの連続でした。でもそうしたプレッシャーが、脳を活性化させ、自分の未開発な部分を目覚めさせてくれる。ただ、好きなことを好きなときにやればよいというのでは、あまりアドレナリンが出ないんですね。もうちょっと頑張れるところでも、適当に流してしまふ。これでは開発できる能力が開発されない。ほどほどで終わる。やりたいことだけ、相当な重圧も感じる状況。そんなときに人は脳をフルに回転させて、今までにない自分を開発することができるんだと身を持って知りました。

人間は年をとるから老いるんじゃないんです。理想とか夢をうしなつたときに老いる。70歳であろうが80歳であろうが、自己実現を目指し、アドレナリンを分泌してなにかにあたってるときは、肉体はたしかに老化してるかもしれないけど、人間としては全然老いていない。目標もなく、なんとなく日々を過ごしている人は、身体は若々しくても、精神は老人に近い。これは非常にもったいない。

皆さんも大学4年間でぜひ自己実現の欲求を持って欲しい。そのためにはまず自分に向かっている流れ、この流れの後ではなく、先頭に立つことが大切だと思います。



高野進氏プロフィール

61年静岡県富士宮市に生まれる。富士宮第二中学入学と同時に陸上競技を始め、富士市立吉原商業高校より短距離を専門とする。東海大学に入学、本格的に400mに取り組む。84年ロサンゼルスオリンピック出場、準決勝まで進出。88年ソウルオリンピックに出場、日本人初の4.4秒台突入ながら9番目の記録で決勝進出ならず。91年日本選手権で日本記録4.4秒78を樹立。今も日本記録に残る。同年世界陸上400mで7位入賞。92年バルセロナオリンピック400mで決勝進出、8位入賞。94年アメリカ、アリゾナ大学に1年間コーチングの研究のため留学、その後母校東海大学陸上部短距離ブロックコーチとして着任。03年教え子の末続慎吾がバリの世界陸上200mで日本人初の銅メダルに輝く。現在東海大学体育学部助教授、日本陸連男子短距離強化部長、日本スプリント学会会長。

◆平成16年度◆「大学と父母との連絡会」のお知らせ◆

全国27ヶ所
で開催

後援会と大学との共催により平成16年度「大学と父母との連絡会」を下記の27会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子女の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

◆平成16年度「大学と父母との連絡会日程および会場」

開催地	開催日	時間	会場
札幌	9月11日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	京王プラザホテル札幌 〒060-0005 札幌市中央区北5条西7丁目(TEL 011-271-0111)
盛岡	9月11日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルルイズ 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通7番15号(TEL 019-625-2611)
仙台	9月12日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル仙台プラザ 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-20-1(TEL 022-262-7111)
郡山	9月11日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルハマツ 〒963-8578 郡山市虎丸町3-18(TEL 024-935-1111)
宇都宮	9月12日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	関東チサンホテル宇都宮 〒321-0964 宇都宮市駅前通り3-2-3(TEL 028-634-4311)
水戸	9月11日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	三の丸ホテル 〒310-0011 水戸市三の丸2-1-1(TEL 029-221-3011)
東京	9月25日(土)	受付開始 11:30 開催 12:15~15:30	武蔵工業大学 世田谷キャンパス 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1(TEL 03-3703-3111)
横浜	9月25日(土)	受付開始 10:00 開催 10:30~14:00	武蔵工業大学 横浜キャンパス 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西3-3-1(TEL 045-910-2500)
高崎	9月12日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルメトロポリタン高崎 〒370-0849 高崎市八島町222(TEL 027-325-3311)
新潟	9月11日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルイタリア軒 〒951-8061 新潟市西堀通7-1574(TEL 025-224-5111)
甲府	9月 4日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル談露館 〒400-0031 甲府市丸の内1-19-16(TEL 055-237-1331)
長野	9月12日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル国際21 〒380-0838 長野市県町576(TEL 026-234-1111)
松本	9月11日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	松本グリーンホテル 〒390-0815 松本市深志1-5-14(TEL 0263-35-1277)
三島	9月 4日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	三島グランドホテル 〒411-0035 三島市大宮町3-18-33(TEL 0559-75-4300)
静岡	9月 5日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルアソシア静岡ターミナル 〒420-0851 静岡市黒金町56番地(TEL 054-254-4141)
浜松	9月 4日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	オークラアクトシティホテル浜松 〒430-7733 浜松市板屋町111-2(TEL 053-459-0111)
富山	9月 5日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	名鉄トヤマホテル 〒930-0004 富山市桜橋通り2-28(TEL 076-431-2211)
金沢	9月 4日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	金沢都ホテル 〒920-0852 金沢市此花町6-10(TEL 076-261-2111)
名古屋	9月12日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	名古屋国際ホテル 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目23-3(TEL 052-961-3111)
京都	9月11日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	京都ロイヤルホテル 〒604-8005 京都市中京区河原町三条上ル(TEL 075-223-1234)
徳島	9月 5日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	阿波観光ホテル 〒770-0833 徳島市一番町3-16-3(TEL 088-622-5161)
高知	9月 4日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルサンルート高知 〒780-0056 高知市北本町1-1-28(TEL 088-823-1311)
岡山	9月 5日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	岡山国際ホテル 〒703-8274 岡山市門田本町4-1-16(TEL 086-273-7311)
広島	9月 4日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	リーガロイヤルホテル広島 〒730-0011 広島市中区基町6-78(TEL 082-502-1121)
福岡	9月 5日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルセントラーザ博多 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前中央街4-23(TEL 092-461-0111)
宮崎	9月 4日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテルJALシティ宮崎 〒880-0001 宮崎市橘通西4-2-30(TEL 0985-25-2580)
那覇	7月17日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00~12:00	ホテル西武オリオン 〒902-0067 那覇市安里1-2-21(TEL 098-866-5533)